

# 御蔵島野生化猫捕獲プロジェクト

## 御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会

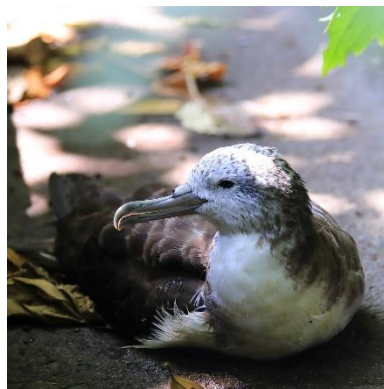
御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会は、東京都御蔵島に生息するオオミズナギドリの保全を目的として活動している団体です。

### 【活動背景】

御蔵島はオオミズナギドリの世界最大の繁殖地です。2007年には推定100万羽生息していましたが、2016年には11万7千羽に減少しています。国立森林総合研究所によると、野生化猫1頭が1年間に捕食するオオミズナギドリの数は年平均300羽程度であることが判明しています。また御蔵島における野生化猫の個体数については調査中ではありますが、100頭以上は生息していると推定され、1年間で数万羽のペースでオオミズナギドリの個体数が減少していると考えられ、このことから、野生化猫を一刻も早く御蔵島から排除する必要があります。

### 【活動目的】

野生化猫を捕獲し、内地への移送、医療処置、シェルターにおける飼養と馴化訓練を行います。医療処置の完了後は、連携している保護猫カフェや預かりボランティアとも協力して新たな飼い主募集を行います。



### 【助成金の用途・活動結果】

助成金は、猫搬送用キャリーケース、避妊・去勢手術、猫の移送費に充てられました。結果、93頭の猫を捕獲し、御蔵島内、プロジェクトチーム内での譲渡を除く90頭は移送し、当会シェルターで受け入れました。90頭の猫全頭に対し、ウイルス検査（FIV/FelV）、駆虫薬の投与（外部寄生虫、消化管内寄生虫）、3種混合ワクチン接種、マイクロチップの挿入および登録を実施しました。23年度の譲渡数は55頭に上りました。

### 【団体からのメッセージ】

猫は人との暮らしの中ではかわいいパートナーですが、ひとたび野に放たれると、その強い繁殖力と優秀な狩りの能力で、生態系を壊してしまいます。たった一人の人間が軽い気持ちで猫を逃がしてしまうだけで、地域の生態系を揺るがす危機につながってしまうこともあります。また御蔵島のみならず、日本全国に行き場を失った猫たちが溢れています。ご自身の地域が抱えている問題に目を向けていただき、不幸な猫たちが少しでも減るように、地域で活動する保護団体をサポートしてもらえたら嬉しいです。

